

2017年度

# 事業報告書

自 2017年4月1日  
至 2018年3月31日

特定非営利活動法人 日本ワールドゲームズ協会

## 2017年度 団体概要

特定非営利活動法人  
日本ワールドゲームズ協会

### 1. 目的

ワールドゲームズの理念に則り、多種多様なスポーツを国民に普及し、スポーツ愛好者の増大を図り、選手の育成とレベル技術向上を図るとともに、スポーツを通じて国民をはじめ、世界の人々の健康増進と世界平和に寄与することを目的に以下の事業を実施する。

### 2. 事業

- (1) 国際ワールドゲームズ協会（IWGA）及び国際関連組織との連携
- (2) ワールドゲームズに関する普及・啓発
- (3) ワールドゲームズ関連の国内行事への参画
- (4) スポーツの国際交流の推進
- (5) 国際的なスポーツ問題の調査研究

### 3. 会員

ワールドゲームズの振興を支援する個人及び団体

〔正会員〕25団体 〔準会員〕13団体 〔支援会員〕6団体／1名 〔賛助会員〕2名  
計44団体・個人3名（詳細P.4参照）

### 4. 役員

- (1) 理事 任期2年（2016年7月1日～2018年6月30日）

理事10名以上15名以内（うち、会長1名、副会長1名、専務理事1名）・監事2名以内

会長	小野清子	（公財）笹川スポーツ財団 元理事長
副会長	玉利齊	（公社）日本ボディビル・フィットネス連盟 会長
執行理事 （国際担当）	師岡文男	（一社）日本フライングディスク協会 会長 国際ワールドゲームズ協会 理事
執行理事 （総務担当）	渡邊一利	（公財）笹川スポーツ財団 理事長
執行理事	赤木恭平	（公財）日本オリンピック委員会 名誉委員
〃	吉澤俊治	（一社）日本水中スポーツ連盟 専務理事
理事	川原貴	国立スポーツ科学センター 元センター長
〃	清宮邦雄	（一社）日本ローラースポーツ連盟 専務理事
〃	栗原茂夫	（公財）全日本空手道連盟 副会長
〃	小林伸輔	（一社）共同通信社 運動部長
〃	滝川哲也	（株）時事通信社 編集委員 東京五輪・パラリンピック対策室
〃	西尾学	（公社）日本ビリヤード協会 専務理事
〃	村岡久平	（公社）日本武術太極拳連盟 会長
〃	吉田進	（特非）日本パラ・パワーリフティング連盟 理事長
監事	宮本英尚	（公社）日本パワーリフティング協会 会長
〃	宮城島真知子	（公社）日本スカッシュ協会 運営委員

# 2017年度 事業報告

特定非営利活動法人

日本ワールドゲームズ協会

## 1. 目的

ワールドゲームズの理念に則り、多種多様なスポーツを国民に普及し、スポーツ愛好者の増大を図り、選手の育成と競技の向上を図るとともに、スポーツを通じて我が国民はもとより、人類の健康増進と世界平和に寄与することを目的に事業を実施した。

## 2. 事業の成果

ワールドゲームズは「第2のオリンピック」とも言われ、国際的トップアスリートによる国際総合競技大会である。しかし、国内でのワールドゲームズは知名度が低いのが現状であり、国内でのワールドゲームズ周知のため、広く国民へその情報を提供し、様々なスポーツが持つ魅力をチラシやホームページを通じて発信した。

2017年7月20日から30日までの11日間、第10回ワールドゲームズ大会がポーランド共和国・ヴロツワフで開催された。今大会は、公式27競技、公開4競技に世界102の国や地域から3,214名のトップアスリートが参加した。日本からは18競技に98名の選手が参加し、公式10競技で計22個のメダルを獲得した。(金9、銀6、銅7)開催期間中には、スポーツ庁の鈴木大地長官が現地を訪れ、選手への激励と熱い応援がメダル量産の原動力となった。

また、ドーピング防止活動にも積極的に取り組み、その普及・啓蒙も併せて実施した。

## 3. 事業の実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
ワールドゲームズに関する普及・啓発	<p>「ワールドゲームズに関する情報の収集及び提供による普及・啓発」</p> <p>2017年7月に第10回ワールドゲームズ大会がポーランド共和国・ヴロツワフ市で開催された。日本からは18競技に98名の選手を派遣し、それに向けて、加盟団体と協力のもと、競技の普及と競技力の向上を図り、広く国民に対しワールドゲームズを紹介し、国内での知名度を向上させるよう積極的に広報活動を展開した。</p> <p>1. ワールドゲームズに関する広報活動 ※第10回大会報告書の作成・配布 【toto 助成事業】</p> <p>2. ワールドゲームズに関する情報の収集及び提供</p> <p>3. ドーピング防止活動の普及・啓蒙</p> <p>4. 関連イベントへの協力 【ニュースポーツ EXPO in 多摩】 ※主催: 東京都、東京都レクリエーション協会</p>	通 年	全 国	50名	一般市民 競技団体 報道機関他	(千円) 2,296
		3/10	国営昭和記念公園		来場者:3.6万人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
スポーツの国際交流の推進	<p>「国際ワールドゲームズ協会等、国際機関との交流」</p> <p>国際ワールドゲームズ協会(IWGA)との連絡を密にし、各国のスポーツ団体、国際スポーツ諸団体との交流を図る。</p> <p>1. IWGA、各国のスポーツ団体 国際スポーツ団体等との交流</p> <p>2. 国際スポーツ団体との連絡調整</p> <p>3. 第10回ワールドゲームズへの 選手派遣支援 (スポーツ振興基金助成事業)</p> <p>4. 国際会議への出席 ・IWGA 理事会・総会 ・スポーツアコード</p>	通 年	全 国	20 名	会員団体 競技愛好者 他	26,042
		7/20 ~ 30	ポーランド・ ウロツワフ 市		18 競技/98 名	
		4/3~7	デンマーク・ アーフス市		学識者:1 名	

[参考] 特定非営利活動法人日本ワールドゲームズ協会 会員団体一覧

【正会員】25団体

#	団体名
1	公益財団法人合気会
2	公益社団法人全日本アーチェリー連盟
3	公益財団法人全日本空手道連盟
4	日本キャスティング協会
5	一般社団法人日本サーフィン連盟
6	公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
7	一般社団法人全日本柔術連盟
8	特定非営利活動法人日本水上スキー・ウエイクボード連盟
9	一般社団法人日本水中スポーツ連盟
10	公益社団法人日本スカッシュ協会
11	公益財団法人日本相撲連盟
12	公益財団法人日本ソフトボール協会
13	公益社団法人日本ダンススポーツ連盟
14	公益社団法人日本綱引連盟
15	公益社団法人日本パワーリフティング協会
16	公益財団法人日本ハンドボール協会
17	一般社団法人日本フロアボール連盟
18	公益社団法人日本ビリヤード協会
19	一般社団法人日本フライングディスク協会
20	公益社団法人日本ペンタンク・ブル連盟
21	公益財団法人全日本ボウリング協会
22	公益社団法人日本ボディビル・フィットネス連盟
23	特定非営利活動法人日本ライフセービング協会
24	一般社団法人日本ローラースポーツ連盟
25	公益財団法人笹川スポーツ財団

【準会員】13団体

#	団体名
1	一般社団法人日本アームレスリング連盟
2	公益社団法人日本エアロビック連盟
3	日本オーケーゴルフ協会
4	一般社団法人全日本空道連盟
5	公益財団法人日本ゲートボール連合
6	一般社団法人日本健康麻将協会
7	国際スポーツチャンバラ協会
8	公益財団法人日本ソフトテニス連盟
9	公益社団法人日本ダーツ協会
10	一般社団法人日本ドラゴンボート協会
11	公益社団法人日本武術太極拳連盟
12	日本マウンテンバイク協会
13	一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会

【支援会員】6団体

1	東京スカイダイビングクラブ
2	一般社団法人日本スポーツカイロプラクティック連盟
3	一般社団法人全日本フルコンタクト空手道連盟
4	一般社団法人日本ペタンク連盟
5	日本落下傘スポーツ連盟
6	公益財団法人日本レクリエーション協会

【支援会員】個人1名

1	伊佐 和敏
---	-------

【賛助会員】個人2名

1	北出 雅人
2	伊佐 芙美子

会員総数／44団体 個人会員／3名

2018年3月31日現在

2017年度事業報告書は、前記のとおり相違ありません。

2018年6月7日

特定非営利活動法人  
日本ワールドゲームズ協会  
会長 小野清子

2017年度事業報告書を監査した結果、適正かつ妥当であることを認めます。

2018年6月7日

監事 宮本 英尚

監事 宮城島 眞知子

**特定非営利活動法人 日本ワールドゲームズ協会**

〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目2番2号 日本財団ビル3階 公益財団法人笹川スポーツ財団内  
TEL : 03-6229-5300 FAX : 03-6229-5340 <http://www.jwga.jp/> E-mail: info@jwga.jp